

2023.12.2
中部経済学インターゼミ

地方自治体の観光政策における EBPMの推進について

名古屋大学経済学部 柳原ゼミ（末武正剛・田川瑞輝・峯田恵太）

次第

1. 研究内容と背景 ～EBPMとは何か～
2. 愛知県の観光政策におけるEBPMの試みと課題
3. 愛知県の市町村におけるEBPMの実施に関する調査
4. 今後の調査に向けて/まとめ

1. 研究内容と背景

～EBPMとは何か～

EBPM (Evidence-based Policy Making)とは

Evidence-based Policy Making : エビデンスに基づく政策形成

- ① 政策目的を明確化させ
- ② その目的達成のため本当に効果が上がる政策手段は何かなど、政策手段と目的の論理的なつながりを明確にし
- ③ このつながりの裏付けとなるようなデータ等のエビデンス (根拠)を可能な限り求め

『政策の基本的な枠組み』を明確にする取組 (EBPM推進委員会,2021)



限られた資源を有効活用し、
効果的で国民から信頼される政策形成に寄与すると期待される

OBPMとEBPM

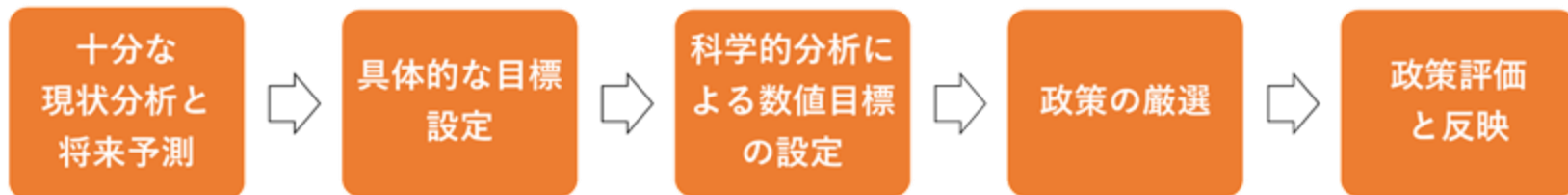
従来の政策形成

Opinion-based Policy Making : 個人的意見や経験に依拠した政策形成

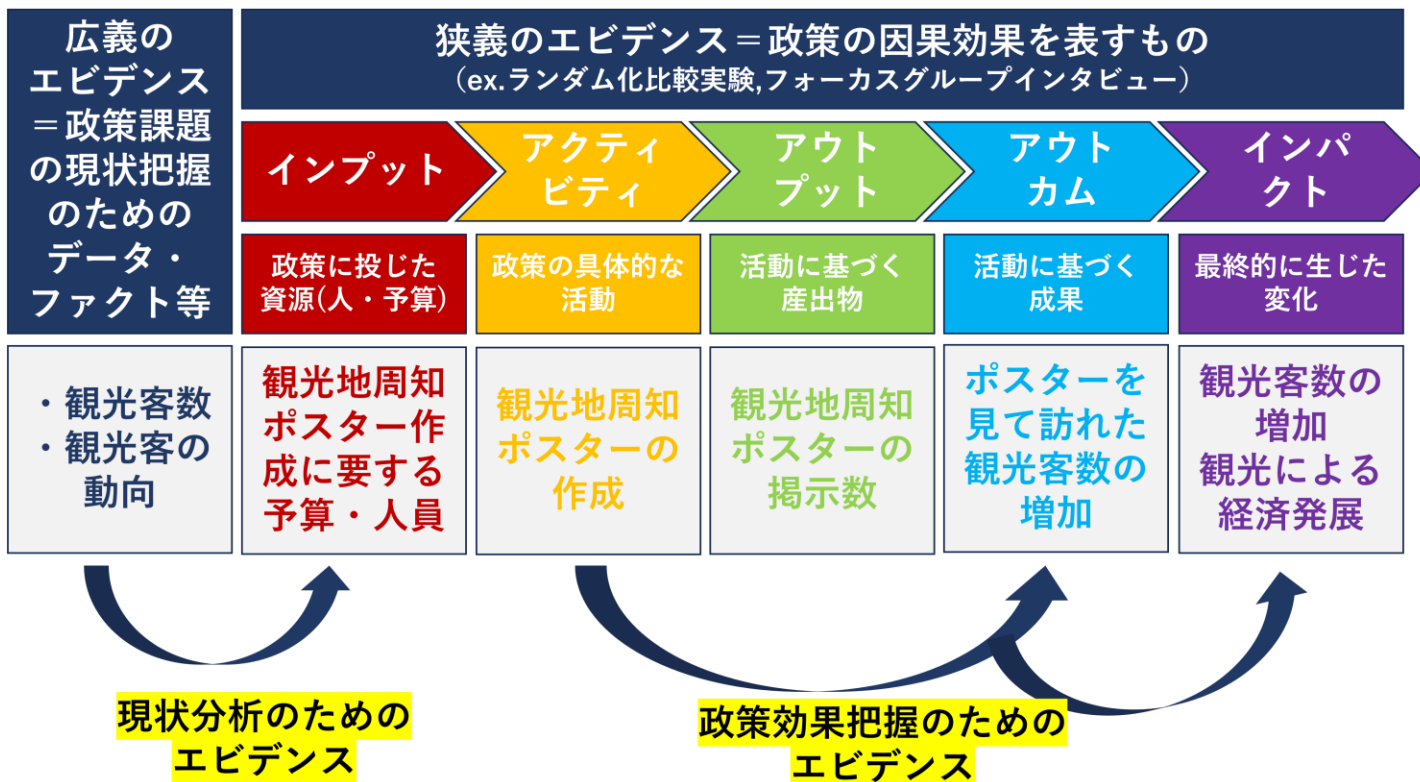


あるべき政策形成

Evidence-based Policy Making : エビデンスに基づく政策形成



EBPMにおけるエビデンスとは



EBPM推進の経緯

英米


- 英:ブレア政権「政府の現代化」(1999)- エビデンスに基づく政策形成の必要性を強調
- 米:オバマ政権下(2009～)で横断的に推進
EBPM諮問委員会設立(2016), EBPM法成立(2019)

日本の
中央省庁

- 「経済財政運営と改革の基本方針2017」- EBPM推進について明記, EBPM推進委員会発足(2017)
- 政策立案総括審議官(EBPM推進の責任者)を各省庁に設置(2018)

地方自治体

- 尼崎市:「学びと育ち研究所」設置(2017)- 教育分野におけるEBPM推進
- 神戸市:「神戸データラウンジ」- 行政データの利活用

- 
- **官庁に比べて自治体ではEBPM推進が遅れているのでは**
 - **地方自治体レベルではEBPMの推進に差がある。**
特に自治体の規模と関係があるのでは

研究内容

【内容】

地域の経済発展を支える重要な柱となる観光産業。その舵取りを行う観光政策においてEBPMがどの程度浸透しているのか、浸透している自治体とそうでない自治体にどのような違いがあるのかを調査する。また観光政策においてEBPMを実施する上での課題を明らかにし、自治体に合わせたEBPMの推進の方法について考察していく。

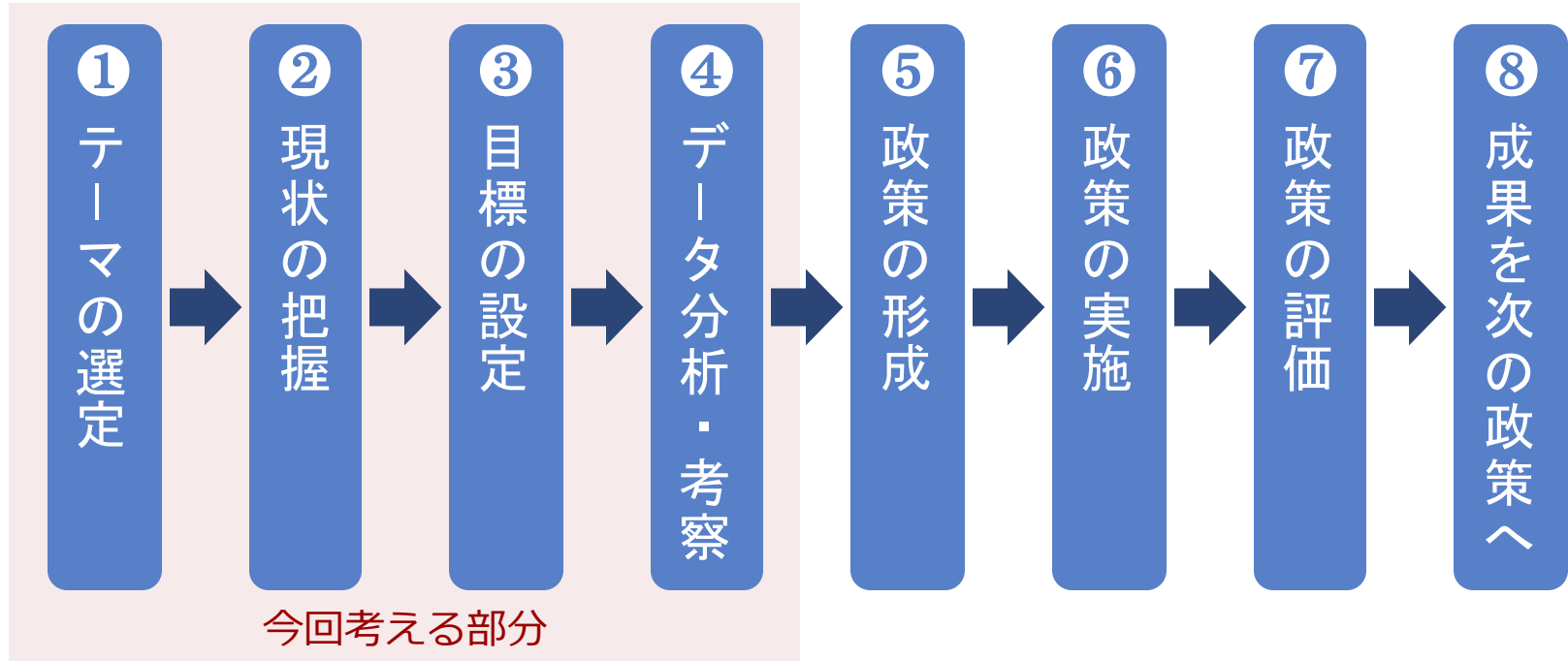
【方法】

- ① 愛知県の観光政策においてEBPMを試み、その課題を検討する
- ② 愛知県の自治体におけるEBPMの浸透について調査を行い、実態を把握する

2. 愛知県の観光政策における EBPMの試みと課題

愛知県の観光政策におけるEBPMの試みと課題

【EBPMのプロセス (EBPMストーリー)】



愛知県の観光政策におけるEBPMの試みと課題

あいち観光戦略

① テーマの選定

- ・ 愛知県の観光関連産業の振興

② 現状の把握

- ・ 来県者数の増加、滞在日数の伸び悩み
- ・ 趣味・嗜好の多様化と旅行のニーズの変化
- ・ 人口減少に伴う国内旅行市場の縮小
(一人当たり旅行消費額増額の必要性)

③ 目標の設定

- ・ 愛知県における周遊観光の促進
- ・ 周遊地点数 (= 訪問箇所数) の増加

愛知県の観光政策におけるEBPMの試みと課題

【分析に必要なデータ】

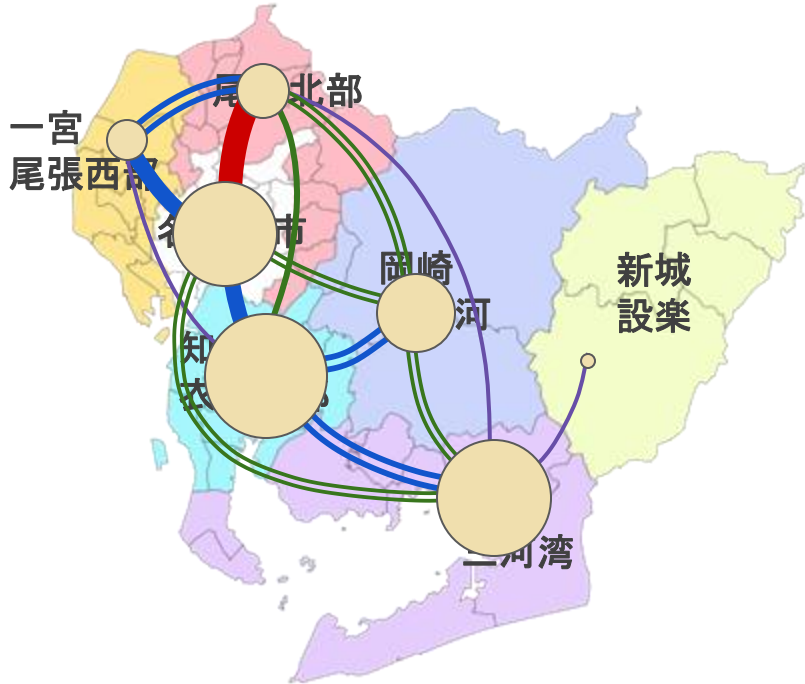
- **愛知県観光入込客統計調査**：観光地点等入込客調査，観光地点パラメータ調査
- **愛知県観光レクリエーション利用者統計**：地域別，期間別，観光資源別
- **モバイル空間統計**：性別，居住地，時間帯等の訪問者属性
- **miraichi**：2地点以上の経路分析，交通手段判定

⇒ ネットワークグラフの作成、地図上への表示

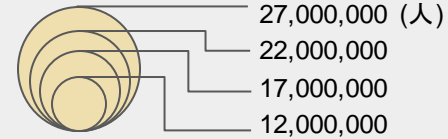
⇒ 適切な周遊ルートの提案

愛知県の観光政策におけるEBPMの試みと課題

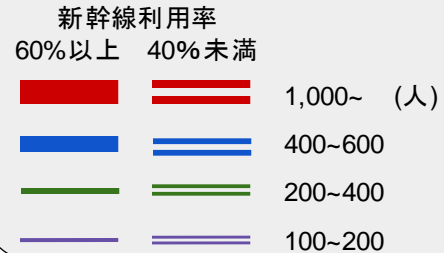
【ネットワークグラフの地図化】



地域別利用者数
(2023年 観光レクリエーション利用者統計)



ルート別来訪者数(休日)
(2016年 miraichi観光動態調査レポート)



愛知県の観光政策におけるEBPMの試みと課題

【愛知県の観光産業でEBPMを実施する際の課題】

- パラメータ調査：調査地点数が不十分
- モバイル空間統計：滞在時間が短い箇所の来訪者数を計測しづらい
- miraichi：許諾を得たauスマホ保持者のみのサンプル数
- miraichi：名古屋市以外のエリア分けが大雑把

⇒ ネットワーク分析の精度が不十分

- 個別に存在するデータを一元化する手間
- 位置情報データの利用にかかる費用

3. 愛知県の市町村におけるEBPM の実施に関する調査

調査の概要

実施者：名古屋大学経済学部柳原ゼミ

目的：愛知県自治体の観光政策におけるEBPMの浸透具合、浸透している自治体とそうでない自治体との違いの調査

実施方法：メールでのアンケートフォーム配布（全数調査）

調査対象：愛知県全市町村行政の観光政策担当部署全53

設問項目：「EBPMの存在は政策を実施する現場に知られていたか？」（選択肢）

「政策の実施にあたりEBPMは必要だと思うか？」（選択肢）

「政策の実施にあたりEBPMはどの程度行われていると思うか？」（選択肢）

「EBPMが行われていない場合その原因は何だと思うか？」（選択肢・複数回答可）

→42の市町村の観光政策担当者の方が回答

調査の結果

調査の結果、4点が明らかになった。

1. 多くの自治体がEBPMの必要性を感じていながらも実施していない

2. EBPMが実施されていない原因は主に3点ある。

① EBPMに関する知識・ノウハウ不足

② 日常業務の忙しさ

③ 政策形成のためのエビデンス不足

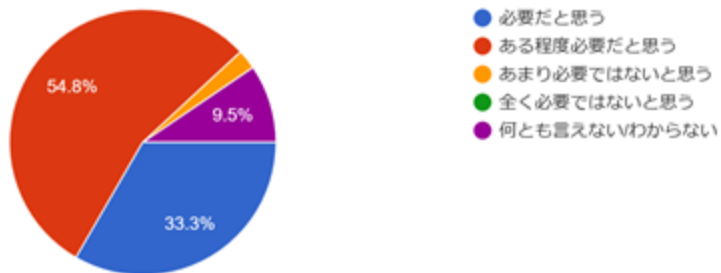
3. EBPMを行っている自治体は行っていない自治体よりも人口が多い傾向がある

4. 官庁の政策実務者と比較した際にEBPMは浸透していない

1. 多くの自治体がEBPMの必要性を感じていながらも実施していない

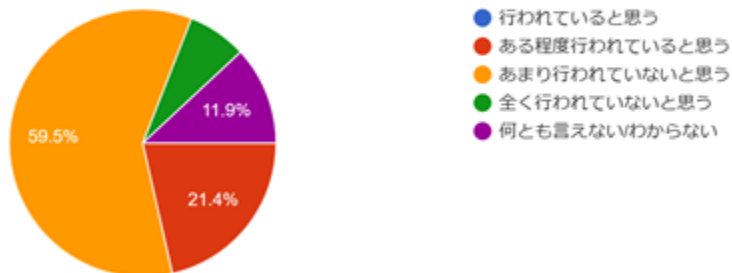
【4】観光政策の企画・実行にあたりエビデンスに基づく政策形成（EBPM）は必要だと思いますか？

42件の回答



【5】観光政策の企画・実行にあたり、エビデンス...）は現実にどの程度行われていると思いますか？

42件の回答



1. 多くの自治体がEBPMの必要性を感じていながらも実施していない

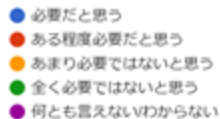
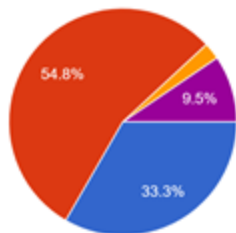
—88.1%の市町村が「EBPMは必要・ある程度必要」と回答したにもかかわらず、実施について肯定的に回答した市町村は全体の21.4%であった。

—59.5%の市町村が必要だと思いながらもEBPMを行っていなかった。

→ **必要性は認知されながらも実施には至っていない**

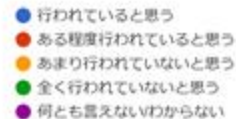
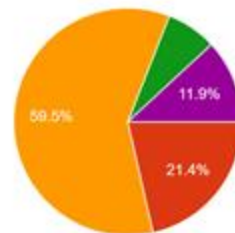
【4】観光政策の企画・実行にあたりエビデンスに基づく政策形成（EBPM）は必要だと思いますか？

42件の回答



【5】観光政策の企画・実行にあたり、エビデンス...）は現実にもどの程度行われていると思いますか？

42件の回答



2. EBPMが実施されていない原因

「EBPMが行われていない場合、その原因は何だと思えますか？」に対する回答（選択肢上位6つ）

順位	回答内容	回答率（数）
1	統計データの解析や研究を理解する能力が政策現場に不足していること	54.8%(23)
2	政策現場は日常業務が忙しく時間がないこと	45.2%(19)
3	政策形成に役立つデータや調査研究が少ないこと	42.9%(18)
3	政策現場にそのような慣行や組織風土がないこと	42.9%(18)
3	そもそもEBPMが行政であまり浸透していない/知られていないこと	42.9%(18)
6	政策がエビデンスと関係なく政治的に決まること	19%(8)

2. EBPMが実施されていない原因

一下記の3点がEBPMが実施されていない大きな原因として考えられる。

①EBPMに関する知識・ノウハウ不足

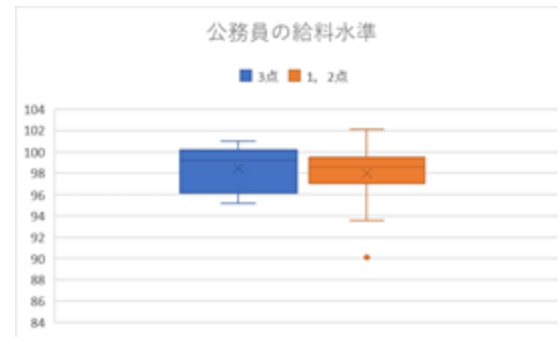
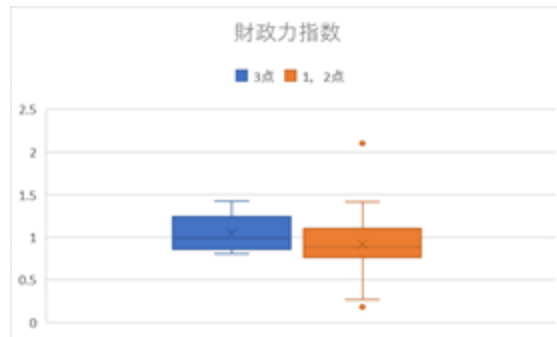
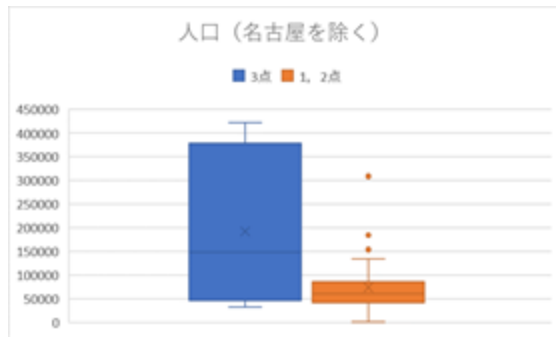
②日常業務の忙しさ

③政策形成のためのエビデンス（データ、調査研究）不足

順位	回答内容	回答率（数）
1	統計データの解析や研究を理解する能力が政策現場に不足していること	54.8%(23)
2	政策現場は日常業務が忙しく時間がないこと	45.2%(19)
3	政策形成に役立つデータや調査研究が少ないこと	42.9%(18)
3	政策現場にそのような慣行や組織風土がないこと	42.9%(18)
3	そもそもEBPMが行政であまり浸透していない/知られていないこと	42.9%(18)
6	政策がエビデンスと関係なく政治的に決まること	19%(8)

3. EBPMを行っている自治体は行っていない自治体よりも人口が多い傾向

自治体の規模（人口、財源の余裕、公務員の給料水準）とEBPMの実施具合



※評価点は「観光政策の実行にあたりEBPMはどの程度行われていると思いますか？」という質問に対し、「行われていると思う」を4点、「ある程度おこなわれていると思う」を3点、「あまり行われていないと思う」を2点、「全く行われていないと思う」を1点として換算。（回答のうち「何とも言えないわからない」は除外、また今回4点はいなかった。）

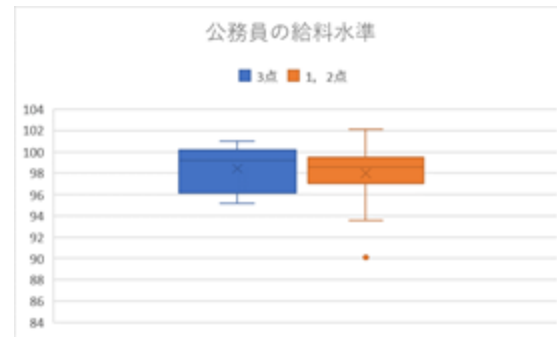
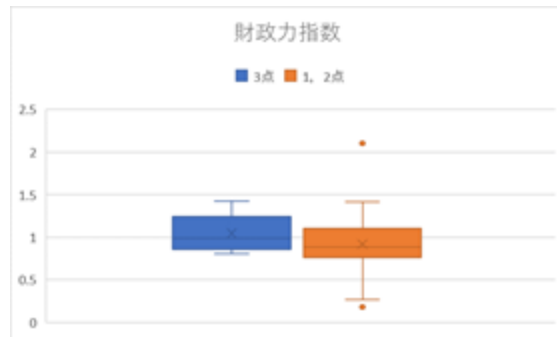
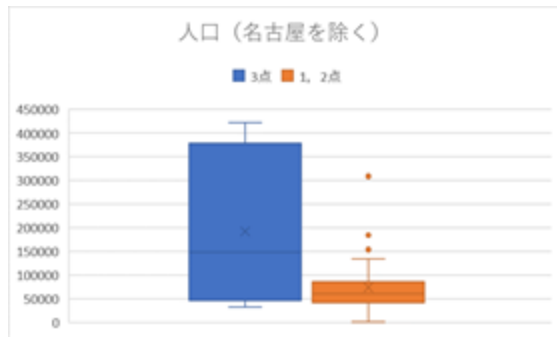
※人口は国勢調査（令和2年）のデータを使用（名古屋市は外れ値として除外）

財政力指数、公務員の給料水準は全市町村の主要財政指標（令和3年・総務省）のデータを使用

3. EBPMを行っている自治体は行っていない自治体よりも人口が多い傾向

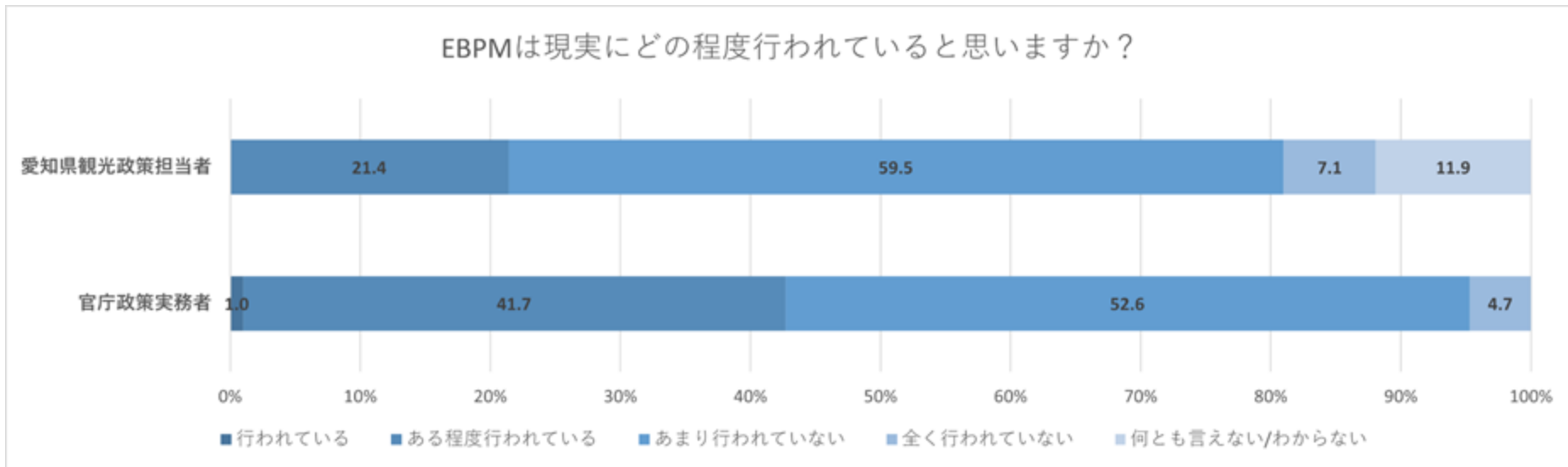
一財源の余裕、公務員の給料水準とEBPMの実施具合についてはあまり違いがなかったが、人口については大きな違いがあった。

→ 人手、ノウハウを有した人材、得られるデータが多いことなどが考えられる。



4. 官庁の政策実務者と比較した際にEBPMは浸透していない

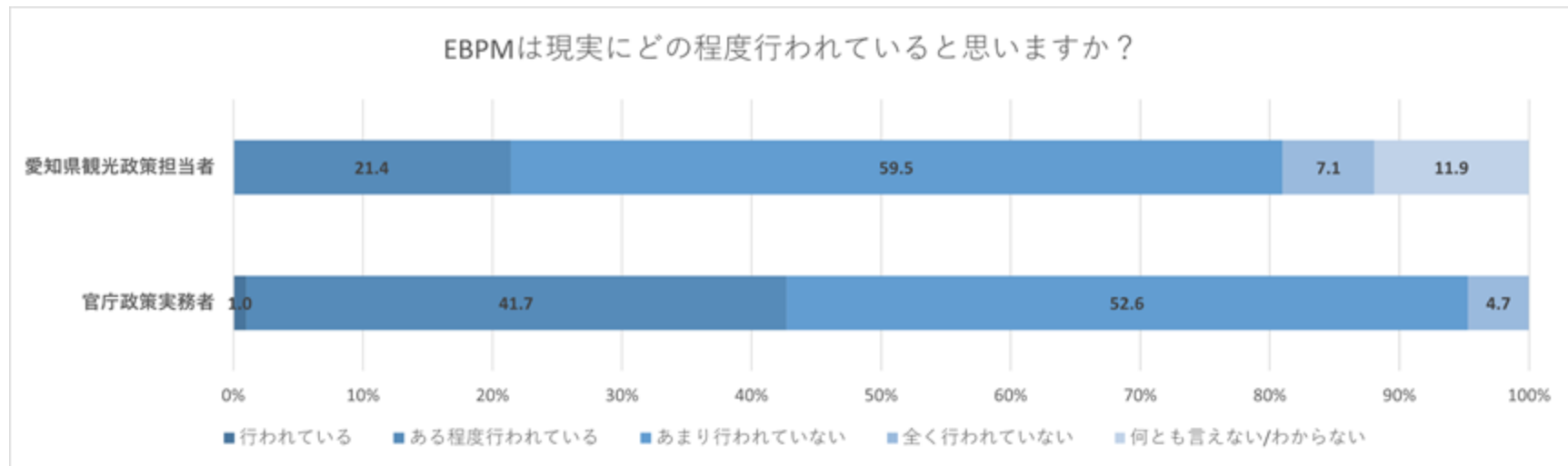
官庁の政策実務者を対象とした調査（森川正之・2017）のうち「EBPMは現実にどの程度行われていると思いますか？」というアンケートの結果と愛知県観光政策担当者への同様のアンケートの結果



4. 官庁の政策実務者と比較した際にEBPMは浸透していない

一官庁の政策実務者のEBPMの実施に対する肯定的な回答は全体の42.7%であり、愛知県市町村の観光政策担当者の約2倍であった。

→自治体レベルではEBPMの実行が遅れている可能性



4. 今後の調査に向けて/まとめ

調査結果の留意点と今後の調査に向けて

留意点①：EBPMに対する認識が地方（行政職員）によって異なる可能性

留意点②：政策形成を担当する課（企画政策課、企画調整課等）と観光政策を実施する課でEBPMの実施レベルが異なる可能性

留意点③：調査結果が愛知県固有のものである可能性

<追加調査すべき事項>

① 行政職員にヒアリングを行い、EBPMの認識についてより詳細に把握する

② 政策形成の上流（企画立案）と下流（実行）でEBPMの実施に違いがあるのか調査する

③ 調査範囲を全国に広げて日本の自治体における実態を調査する

まとめ

EBPMについて、十分に浸透していない自治体が多かった。

また、EBPMの浸透について自治体の 人口規模との関係性がある程度見られた。

時間的制約，能力的制約，情報の制約など 地方自治体でのEBPM推進には多くの障壁がある。また、EBPMをそもそも十分理解していないという課題もある。

根拠に基づいて政策形成をする姿勢

- ・ EBPM自体の認知度向上
→政策の上流から下流にかけて広く浸透
- ・ 地域の規模（予算や人員の制約）に合わせて行える範囲で実施

EBPM推進に向けた環境づくり

- ・ 統計人材の育成
- ・ データの整備・オープンデータの推進
- ・ 地域間の連携（分析のノウハウや政策検証結果などの共有）

出典/参考文献

- 林宜嗣・林亮輔〔2021〕「地域データ分析入門 すぐに役立つEBPM実践ガイドブック」日本評論社
- EBPM推進委員会〔2021〕「EBPM課題検討ワーキンググループ取りまとめ」
https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11987457/www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/ebpm/kadaikento_wg/pdf/torimatome.pdf
- 小林庸平〔2022〕「政策評価とEBPMをどう連動させるか？-基本的な考え方と実践例-」https://www.soumu.go.jp/main_content/000792778.pdf
- 大竹文雄・内山融・小林庸平〔2022〕「EBPMエビデンスに基づく政策形成の導入と実践」日本経済新聞出版
- 滋賀県・滋賀大学〔2022〕「滋賀県における観光客の周遊分析等について」<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5253886.pdf>
- 愛知県〔2020〕「～“Heart”of Japan セカンドステージ～ あいち観光戦略2021-2023」https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/317232_1228154_misc.pdf
- 愛知県観光コンベンション局観光振興課〔2023〕「愛知県観光レクリエーション利用者統計」<https://www.pref.aichi.jp/kanko/menu/toukei/recreation/2022sankou.pdf>
- 愛知県〔2022〕「2022年愛知県観光入込客統計」<https://www.pref.aichi.jp/kanko/menu/toukei/irikomi/2022irikomi.pdf>
- 株式会社ドコモ・インサイトマーケティング〔2016〕モバイル空間統計「個別観光拠点カルテ」<https://www.pref.aichi.jp/kanko/menu/toukei/bigdata/karte.pdf>
- miraichi〔2022〕「miraichi観光動態調査レポート」https://www.pref.aichi.jp/kanko/menu/toukei/bigdata/miraichi_kennai.pdf
- 森川正之〔2017〕「『エビデンスに基づく政策形成』に関するエビデンス」RIETI Policy Discussion Paper Series 17-P-008.
<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/pdp/17p008.pdf>